

道路事業の再評価説明資料

〔国道289号 八十里越〕

平成25年11月

北陸地方整備局

目 次

1. 事業概要	P	1
(1) 事業の目的	P	1
(2) 事業の概要	P	2
2. 現在に至る経緯等	P	3
1) 事業の経緯	P	3
2) 事業の進捗状況	P	3
3) 今後の事業展開	P	3
3. 事業費の見直し	P	4
4. 当該道路の役割・効果	P	5
1) 3便益に係る整備効果		
① 走行時間の短縮	P	7
② 交通事故件数の減少	P	8
2) 防災面を含む多様な効果		
① 災害時における緊急ネットワークの形成	P	9
② 第三次救急医療機関へのアクセス性の向上	P	10
③ 国道252号の冬期通行不能に伴う迂回の回避	P	11
5. 費用と効果	P	12
6. 対応方針（原案）	P	13
参考資料	P	14

1. 事業の概要

1) 事業の目的

当該事業は、

- 通行不能区間の解消
- 安全・安心な暮らしの支援 など

を目的とし、国道289号の新潟県三条市大字塩野^{さんじょうし おおあざ しおのふち} 淵^み～福島県南会津郡只見町大字叶津^{みなみあいづぐん ただみまち おおあざ かのうづ}の延長11.8kmにおいて直轄権限代行により改築事業を行うものである。



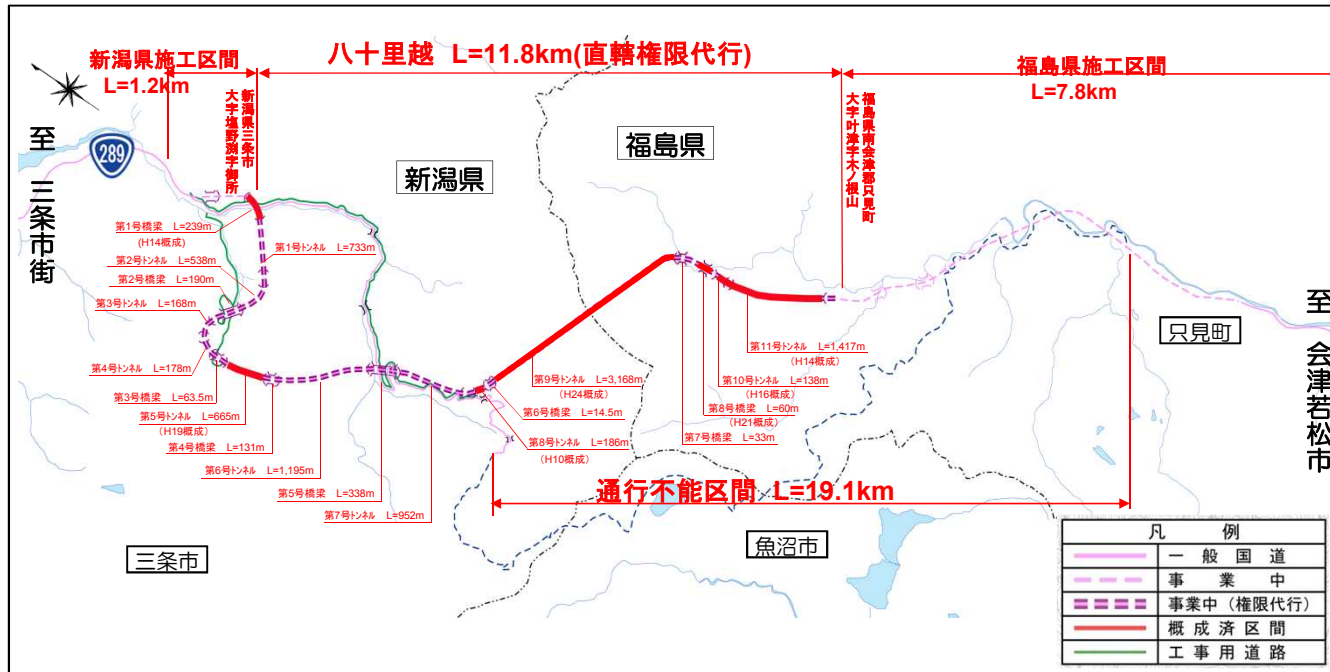
※右图中矢印方向(写真①)

1. 事業の概要

2) 事業の概要

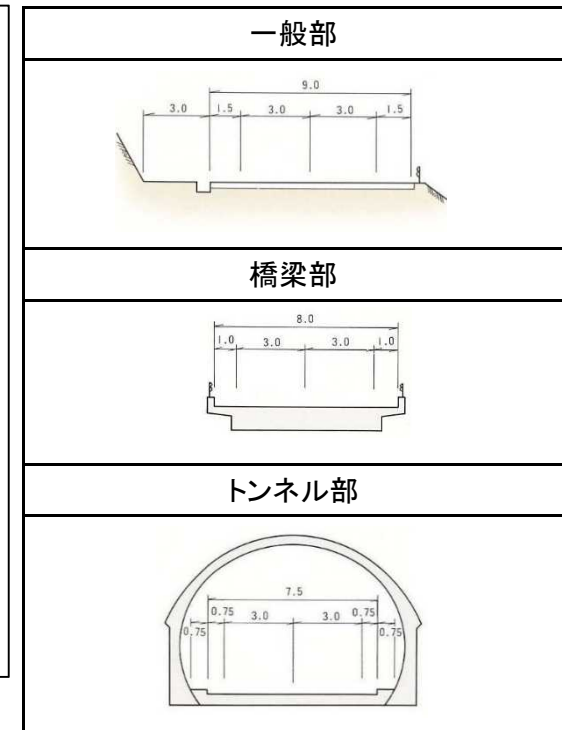
- 事業名：国道289号 八十里越
- 起終点：(起)新潟県三条市大字塩野^{さんじょうし おおあざしおのふち} 八十里越 L=11.8km(直轄権限代行)
- 延 長：11.8km
- (終)福島県南会津郡只見町大字叶津^{みなみあいづぐんただみまちおおあざかのうづ}
- 都市計画決定：—
- 事業化：昭和61年度
- 工事着手：平成元年度
- 用地着手：平成2年度
- 全体事業費：604億円
- 平成25年度までの投資額(予定)：430億円(進捗率71%)

【路線図】



【標準横断図】

(単位：m)



2. 現在に至る経緯等

1) 事業の経緯

年 度	主な経緯	年 度	主な経緯
昭和61年度	事業化	平成10～24年度	8号トンネル、11号トンネル、1号橋梁、10号トンネル、5号トンネル、8号橋梁、9号トンネルの概成
平成元年度	工事着手		
平成2年度	用地着手	平成17、22年度	事業再評価(指摘事項なし、継続)

2) 事業の進捗状況

平成25年度末(予定)

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	604億円	430億円	71%	174億円
うち用地費・補償費	2.5億円	2.0億円	78%	0.5億円

※金額は税込み

3) 今後の事業展開

○ 全区間での用地取得、及び自然環境への影響に配慮しながら工事を推進しており、完成2車線開通に向け事業を推進する。



3. 事業費の見直し

【コスト増額内容: +11億円】

①平成23年7月新潟・福島豪雨災害の復旧工 【+4.8億円】

・平成23年7月新潟・福島豪雨により工事用道路が被災し、多数の法面崩壊、沢から大量の土砂・立木の流出等が発生し、工事用道路・道路施設の復旧工が必要となった。

②地すべり対策工(7号橋梁付近)の追加 【+6.2億円】

・平成23年7月新潟・福島豪雨により7号橋梁上部斜面が崩壊したため地すべり対策工の追加が必要になった。

○見直し後の事業費

平成25年度末(予定)

	全体	執行済額	進捗率	残事業費
事業費	615億円	430億円	70%	185億円
うち用地費・補償費	2.59億円	2.01億円	78%	0.58億円

※金額は税込み

4. 当該道路の役割・効果

〈3 便益に係る整備効果〉

① 走行時間の短縮(P7)

- 只見町から隣接する日常生活圏中心都市の三条市間の所要時間が35分短縮し、アクセス性が向上する。
- 八十里越の整備により、走行時間の短縮による便益が年間34億円発生する。
- 開通後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると465億円と算出される。

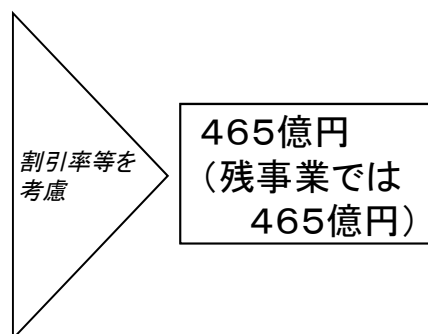
【走行時間短縮便益】

= 整備前総走行時間費用－整備後総走行時間費用

= 12(億円/年)※

※ 便益算定上の開通年次(H35年度)の便益

総走行時間費用 = $\sum \sum [\text{路線別車種別交通量(台/日)} \times \text{路線別走行時間(分)} \\ \times \text{車種別時間価値原単位(円/台・分)}] \times 365(\text{日/年})$



② 走行経費の減少

- 八十里越の整備により、走行経費減少による便益が年間17億円発生する。
- 開通後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると233億円と算出される。

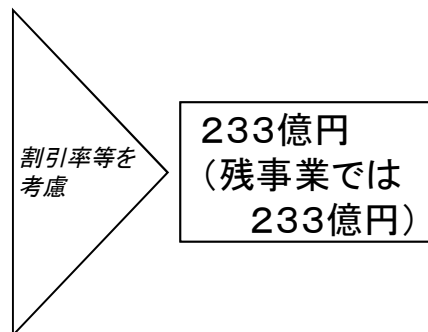
【走行経費減少便益】

= 整備前総走行経費－整備後総走行経費

= 8(億円/年)※

※ 便益算定上の開通年次(H35年度)の便益

総走行経費 = $\sum \sum [\text{路線別車種別交通量(台/日)} \times \text{路線別延長(km)} \\ \times \text{車種別走行経費原単位(円/台・km)}] \times 365(\text{日/年})$



③ 交通事故の減少(P8)

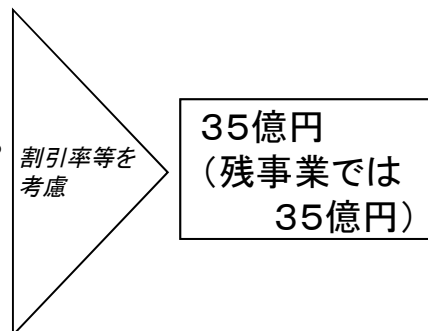
- 八十里越の整備により、年間約30件の死傷事故件数の削減が期待される。
- 八十里越の整備による死傷事故件数の削減により、年間2億円の便益が発生する。
- 開通後50年間の総便益は、割引率4%などを考慮すると35億円と算出される。

【交通事故減少便益】

= 整備前の交通事故による社会的損失－整備後の交通事故による社会的損失

= 2(億円/年)※

※ 便益算定上の開通年次(H35年度)の便益



4. 当該道路の役割・効果

〈防災面を含む多様な効果〉

①災害時における緊急ネットワークの形成(9ページ)

- 急峻な地形を極め日本有数の豪雪地帯でもある八十里越は、現在も19.1kmが通行不能区間となっている。
- 新潟県三条市笠堀地区、及び福島県只見町入叶津地区は、当該路線が唯一の連絡道路となっており、災害による道路寸断により集落が孤立する恐れがある。
- 当該路線の整備により、避難路が確保され、集落孤立の危険性を解消する。
- また、新潟・福島両県を結ぶ第1次緊急輸送路以外に、両県の第2次緊急輸送路を接続しリダンダンシーの機能の向上を図ることで交通の信頼性が向上し、通行止めによる日常生活や産業活動の損失を減少する。

②救急医療施設への「命の道」としてのアクセス向上(10ページ)

- 現在、福島県只見町には総合病院がなく、診療所等では対応できない高度医療や救急医療の主な救急搬送先は、会津若松市にある会津中央病院となっている。
- また、只見町には産婦人科医院が無いほか、最寄りの県立南会津病院の産婦人科では診療を受ける機会が限られる。(木曜日のみ診察)
- 県立南会津病院で対応できない診療科目、救急疾患や高度医療は、救急救命センターのある会津中央病院、長岡赤十字病院への搬送が必要となるが、最短ルート of 国道252号には2箇所 of 事前通行規制区間や、冬期通行不能区間が存在するため、搬送は天候や季節に大きく左右されてしまう。
- 当該路線の整備により、冬期における交通が確保され、新潟県の病院でも高度医療を受けることができ、また、搬送が天候に左右されず、救命救急体制が向上する。

③国道252号の冬期通行不能に伴う迂回の回避(11ページ)

- 当該道路は、福島県と新潟県の県境の積雪の多い山地部に位置している。
- 冬期間は、国道252号の福島・新潟県境部が冬期通行不能となり、磐越自動車道経由の大きな迂回が発生。
- 八十里越の整備により、只見町から三条市間の所要時間が80分(約50%)短縮。
- 通年において、只見町と三条市間のアクセスが確保され、交流が促進される。

4. 当該道路の役割・効果

1) 3便益に係る整備効果

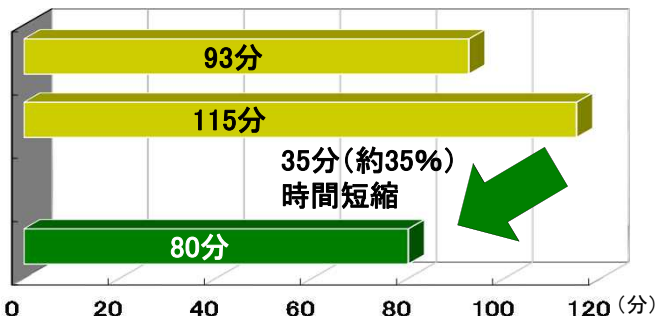
① 走行時間の短縮

- 八十里越の整備により、只見町から三条市間の所要時間が35分短縮(約35%)が見込まれる。
- 只見町から日常生活圏である会津若松市に加え、最も隣接する日常生活圏中心都市となる三条市へのアクセス性が向上し、日常生活の利便性が高まる。



【隣接する日常生活圏中心都市間のアクセス性の向上】

- ③ 整備なし 只見町～会津若松市
- ② 整備なし 只見町～三条市
- ① 整備あり 只見町～三条市

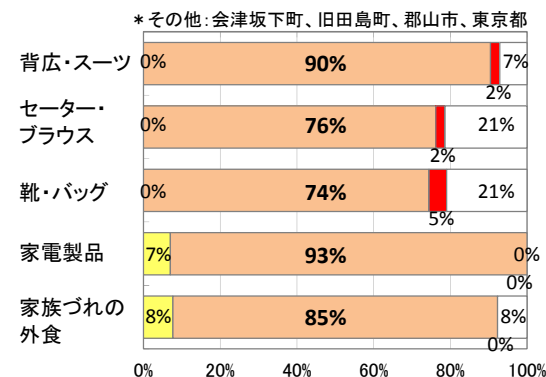


※整備なし:H22年度道路交通センサス
整備あり:H42将来交通量推計に基づく推計値

【只見町の消費購買動向】

- 只見町における主な買い物先は会津若松市。
- 整備により、会津若松市よりも新潟県三条市へ向かう方が所要時間が小さくなり、買い物等の日常生活を送る上で中心となる都市へのアクセス性が向上。
- 買い物等の選択肢が拡大し、日常生活の利便性が高まる。

■ 只見町内 ■ 会津若松市 ■ 新潟県 □ その他

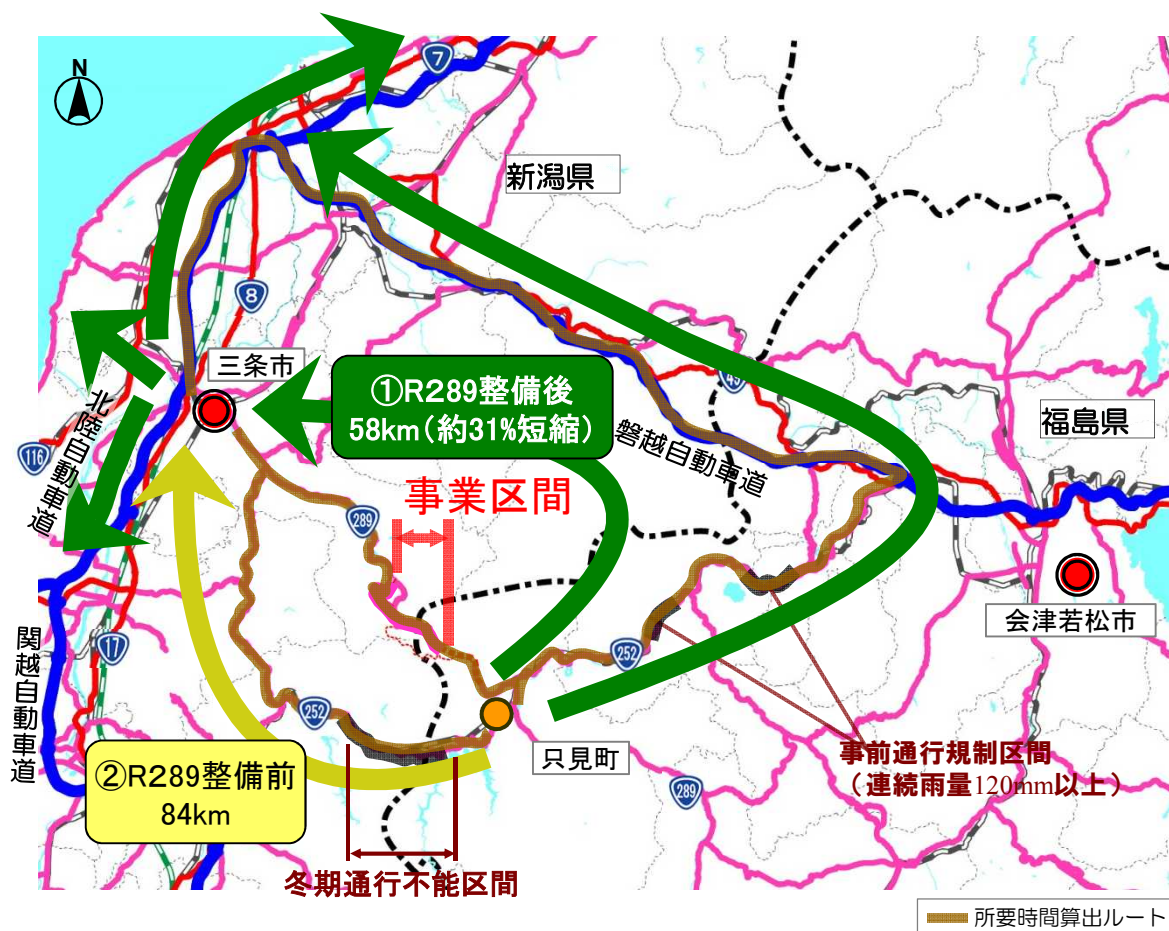


※出典: 第14回消費購買動向調査結果報告書 (福島県商工労働部) 平成21年度

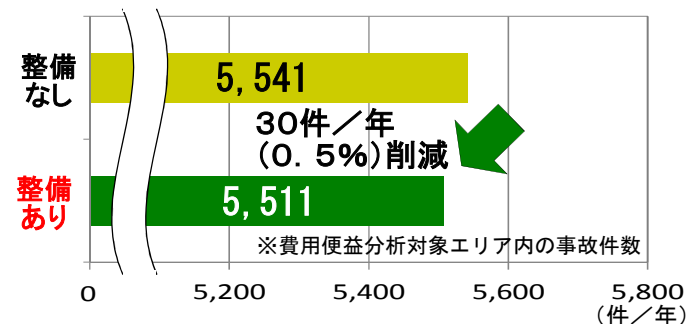
4. 当該道路の役割・効果

②交通事故件数の減少

- 八十里越の整備により、費用便益分析対象エリアの事故件数は30件／年削減が期待される。
- 三条方面との新たなネットワーク構築により、観光・日常生活・物流等における走行距離が短くなり、事故の危険性が低くなる。

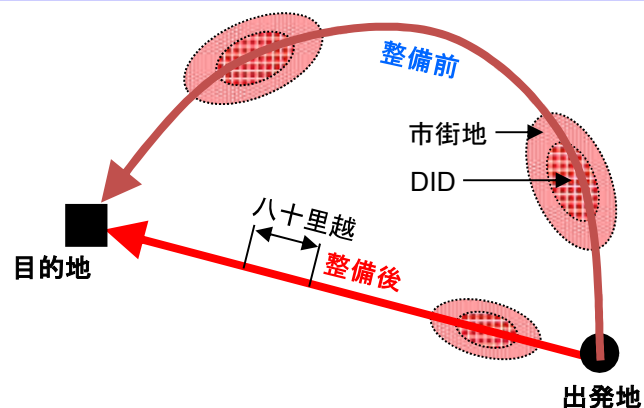


【交通事故件数の削減（H42推計）】



- 整備前に比べ事故の危険性が高いDID地区や市街地を通過する距離が減少し、事故にあう危険性が低くなる。

整備前に比べ整備後に年間30件の事故が減少



4. 当該道路の役割・効果

2) 防災面を含む多様な効果

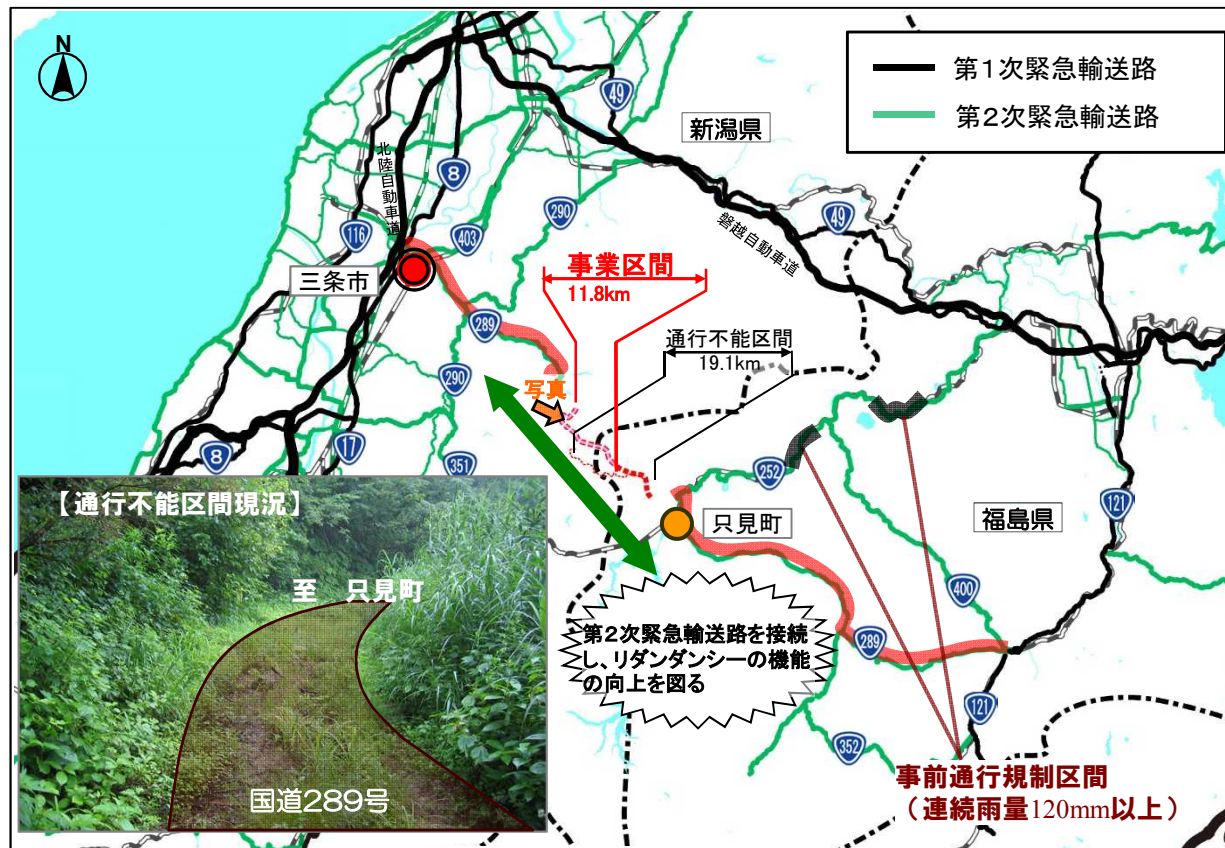
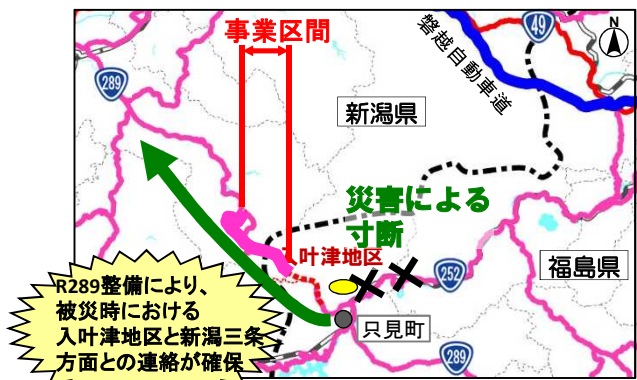
①災害時における緊急ネットワークの形成

- 急峻な地形を極め日本有数の豪雪地帯でもある八十里越は、現在も19.1kmが通行不能区間となっている。
- 新潟県三条市^{かさぼり}笠堀地区、及び福島県只見町^{いりかのうづ}入叶津地区は、当該路線が唯一の連絡道路となっており、災害による道路寸断により集落が孤立する恐れがある。
- 当該路線の整備により、避難路が確保され、集落孤立の危険性を解消する。
- また、新潟・福島両県を結ぶ第1次緊急輸送路以外に、両県の第2次緊急輸送路を接続しリダンダンシーの機能の向上を図ることで交通の信頼性が向上し、通行止めによる日常生活や産業活動の損失を減少する。

【国道289号 新潟側寸断】



【国道289号 福島側寸断】



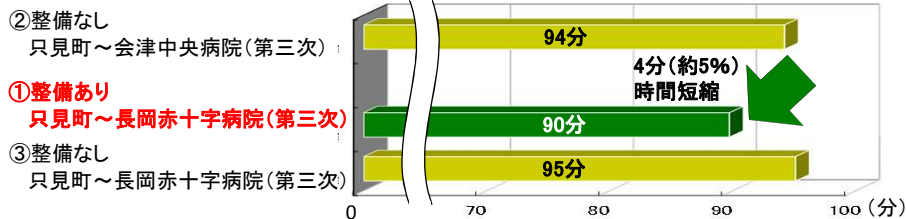
4. 当該道路の役割・効果

②救急医療施設への「命の道」としてのアクセス向上

- 現在、福島県只見町には総合病院がなく、診療所等では対応できない高度医療や救急医療の主な救急搬送先は、会津若松市にある会津中央病院となっている。
- また、只見町には産婦人科医院が無いほか、最寄りの県立南会津病院の産婦人科では診療を受ける機会が限られる。(木曜日のみ診察)
- 県立南会津病院で対応できない診療科目、救急疾患や高度医療は、救急救命センターのある会津中央病院、長岡赤十字病院への搬送が必要となるが、最短ルートは国道252号には2箇所の事前通行規制区間や、冬期通行不能区間が存在するため、搬送は天候や季節に大きく左右されてしまう。
- 当該路線の整備により、冬期における交通が確保され、新潟県の病院でも高度医療を受けることができ、また、搬送が天候に左右されず、救命救急体制が向上する。



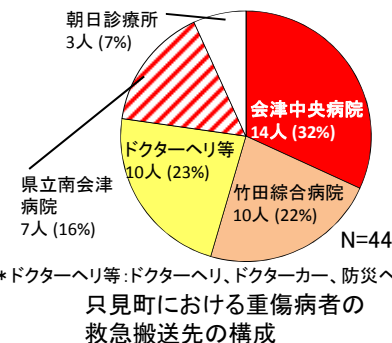
【第三次救急医療機関へのアクセス性の向上】



* 所要時間の算出にあたっては「外部効果の便益計測手法の手引き(案)」(H19年2月 道路事業における外部効果の計測手法に関する研究会)に準じ、規制速度を適用。

只見町における救急搬送の現状

- 只見町における主な救急搬送先は会津若松市方面。
- 南会津病院では診療科目が少なく、診療に制約。



※出典:南会津消防署只見出張所 救急搬送実績資料(平成24年度)

産婦人科医院が不足している只見町

病院名	福島県立南会津病院	会津中央病院	新潟県済生会三条病院
呼吸器科		○	○
消化器科		○	○
小児科	○	○	○
循環器科		○	○
内科	○	○	○
外科	○	○	○
産婦人科	○*	○	○
整形外科		○	○
耳鼻咽喉科		○	○※2
泌尿器科	○	○	○
皮膚科	○	○	○
放射線科		○	○
麻酔科		○	○

※1 木曜日のみ、会津中央病院より派遣
※2 週に1~2回の診療
* 出典:各病院HPより

【現状】
○ 只見町には、現在、産婦人科医院がないほか、最寄りの県立南会津病院での診療は木曜日だけに限られている。
妊婦は診療・分娩に会津中央病院に通院。
【只見町役場ヒアリングより】

【問題】
○ 現在、只見町から会津中央病院へは88分かかる。
○ 最短ルートの国道252号には2箇所の事前通行規制区間が存在。救急搬送が天候に左右されてしまう。

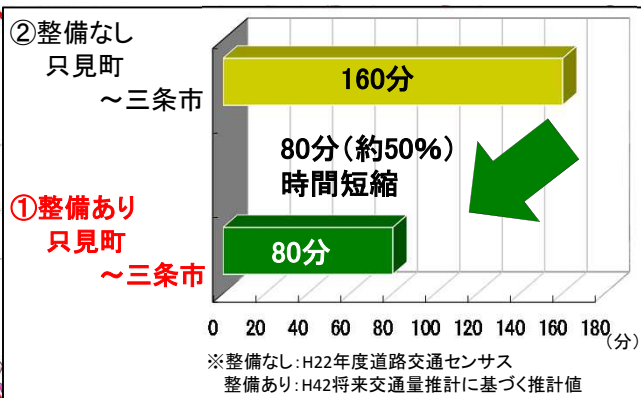
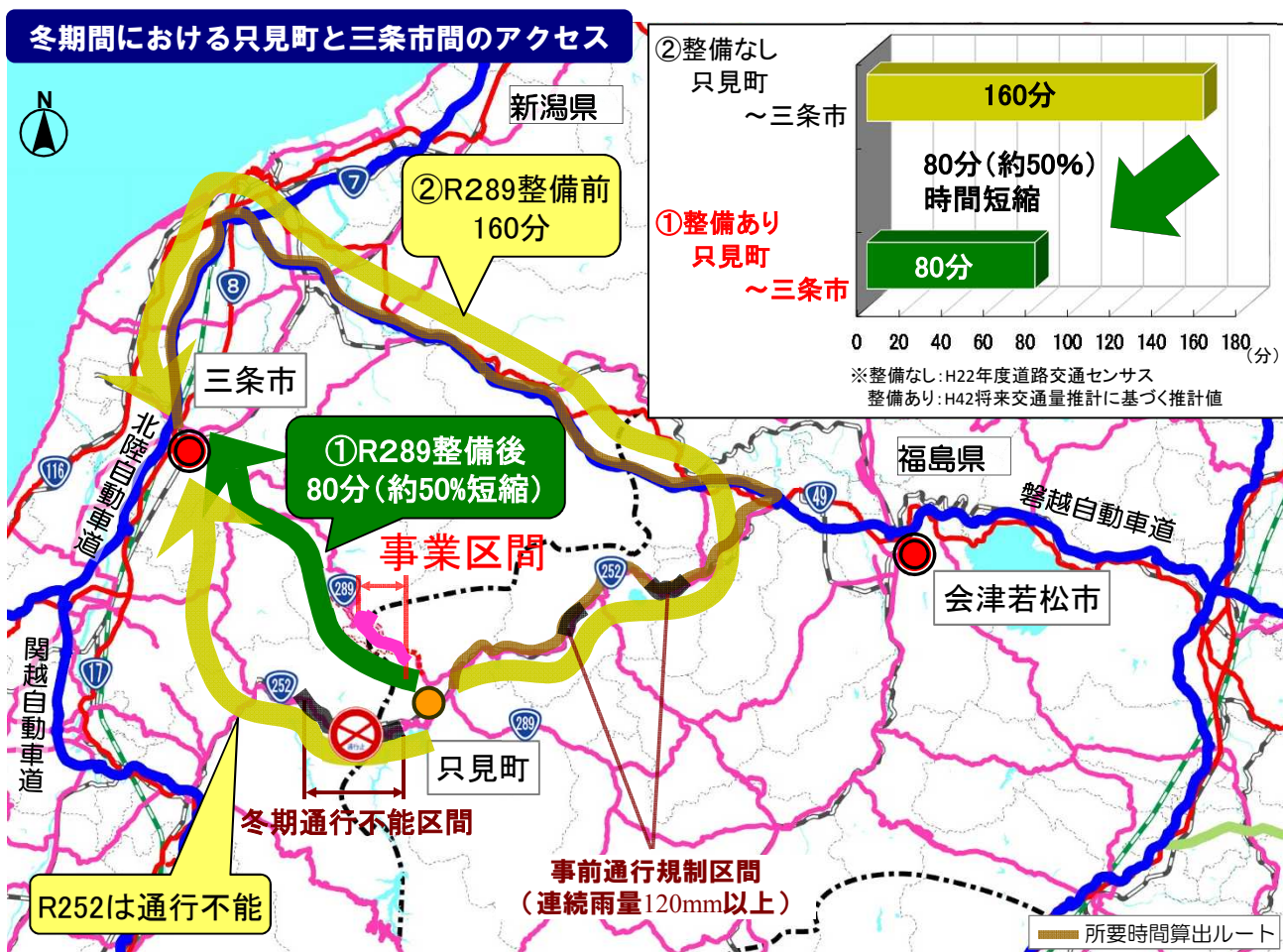
【八十里越の整備により】
○ 新潟県側の産婦人科医院や第三次救急医療機関である長岡赤十字病院へのアクセス性が向上する。
→**診療・分娩ができる病院が増加。**

※表では、3病院のうち1つの病院にしかない診療科目は除いて整理している。

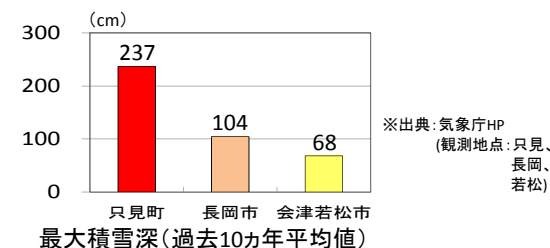
4. 当該道路の役割・効果

③国道252号の冬期通行不能に伴う迂回の回避

- 当該道路は、福島県と新潟県の県境の積雪の多い山地部に位置している。
- 冬期間は、国道252号の福島・新潟県境部が冬期通行不能となり、磐越自動車道経由の大きな迂回が発生。
- 八十里越の整備により、只見町から三条市間の所要時間が80分(約50%)短縮。
- 通年において、只見町と三条市間のアクセスが確保され、交流が促進される。



【只見町の積雪状況】



- 歩行空間未確保による、歩行者・車輛の交錯
- 堆雪による車道の減少幅員

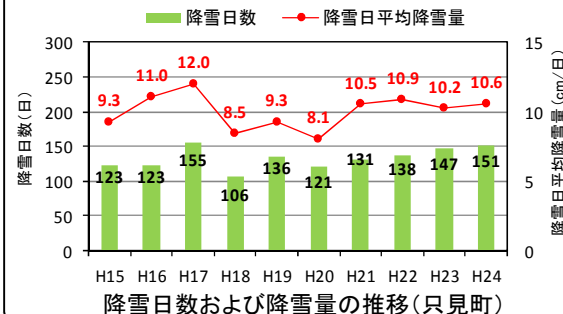


【国道289号・冬期状況(只見町)】

過去10ヶ年の平均年間降雪日数(只見町)

降雪開始～終了日	降雪日数	降雪日以外日数
	133日	19日

※出典:気象庁HP
(観測地点:只見)



5. 費用と効果

- ・事業費：615億円
- ・基準年における費用及び便益の現在価値
 現在価値算出のための割引率：4%
 基準年次：平成25年度
 検討年数：50年

- ・将来道路網：現在の一般県道以上の道路網を基本に、平成25年6月時点で事業化済みの計画路線を対象にした道路網である。

<費用>

基準年における 現在価値		事業費	維持管理費
事業全体	714億円	701億円	13億円
残事業	166億円	154億円	13億円

<3便益>

基準年における現在価値		走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益
事業全体	734億円	465億円	233億円	35億円
残事業	734億円	465億円	233億円	35億円

- 注1) 便益・費用については、基準年における現在価値化後の値である。
 注2) 費用及び便益額は整数止めとする。
 注3) 費用及び便益の合計額は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。
 注4) 便益の算定については、「将来交通需要推計手法の改善について【中間とりまとめ】」に示された第二段階の改善を反映している。

<防災面を含む多様な効果>

八十里越の役割	具体的内容
①災害時における緊急ネットワークの形成	◆災害による道路寸断で孤立化する集落の解消。 ・災害時における集落の孤立化が解消。交通の信頼性が向上し、通行止めによる日常生活や産業活動の損失を減少。
②救急医療施設への「命の道」としてのアクセス性向上	◆救急救命施設、三次医療施設へのアクセス向上 ・診療・分娩ができる病院が増加 ・只見町役場～長岡赤十字病院へのアクセス時間4分短縮。
③国道252号の冬期通行不能に伴う迂回の回避	◆国道252号の冬期通行不能に伴うさらなる迂回の回避 ・只見町から三条市間の所要時間が80分短縮。 ・通年において只見町と三条市間のアクセスが確保される。

6. 対応方針（原案）

①事業の必要性に関する視点

- 福島～新潟の県境間の現道区間は、現在も19.1kmが通行不能区間となっており、また、国道252号は冬期通行止め区間や事前通行規制区間が存在し、大幅な迂回を強いられているが、八十里越の整備により現道の通行不能区間が解消。
- 八十里越の整備により、経済活動の活性化、救急医療施設へのアクセス性が向上し、搬送時間の短縮や安全性が向上。

②事業進捗の見込みの視点

- 当該計画は地形状況を勘案して決定したものであり、用地買収は約8割、事業は約7割が完了。
- 平成24年度には新潟・福島県境の9号トンネルが概成し、現在、第4号橋梁上部工や第7号トンネル等を施工中。
- 繁殖が確認されている猛禽類については、工事開始前に確認等を十分に行い、「八十里越道路環境検討委員会」からの指導・助言を得ながら、慎重にモニタリングや調査・工事を推進。

③コスト縮減からの視点

- トンネル掘削残土を事業区間内で処理することでコスト縮減に努力。
- 施工にあたっては新技術の活用により、コスト縮減に努力。

④対応方針（原案）

対応方針(原案)

事業継続

(理由)

- 国道289号新潟福島県境は通行不能区間となっているが、八十里越の整備により現道の通行不能区間の解消が図られる。
- 八十里越の整備により、災害に強い道路ネットワーク形成が図られ、三条市と南会津のネットワークの強化、孤立集落の解消やリダンダンシーの機能の向上、救急医療機関へのアクセス性の向上、地域住民の不安解消など、防災面で大きな効果が見込まれるため事業を継続する。

參考資料

費用と便益の内容

路線名	事業名	延長	事業種別	現拵・ＢＰ・その他の別
一般国道289号	八十里越	L=11.8Km	一次改築	ＢＰ

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
1,700	2	北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	587億円	38億円	624億円
うち残事業分	177億円	38億円	214億円
基準年における 現在価値（C）	701億円	13億円	714億円
うち残事業分	154億円	13億円	166億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成32年度、平成36年度			
単年便益 (初年便益)	12億円	7.6億円	1.8億円	22億円
基準年における 現在価値（B）	465億円	233億円	35億円	734億円
うち残事業分	465億円	233億円	35億円	734億円

交通状況の変化（全体・残事業）

様式-3①

事業名：一般国道289号 八十里越

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 〔バイパス等〕 :11.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	1,700	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0.0	17.2	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	6.61	
②主な周辺道路 ^{※4}	①国道17号 :155.3km	交通量	[台/日]	8,600	8,300
		走行時間	[分]	207.5	207.1
		走行時間費用	[億円/年]	323.98	303.95
	②国道49号 :66.2km	交通量	[台/日]	7,800	7,100
		走行時間	[分]	85.5	84.9
		走行時間費用	[億円/年]	122.26	107.93
	③国道8号 :24.3km	交通量	[台/日]	31,900	31,600
		走行時間	[分]	31.4	31.4
		走行時間費用	[億円/年]	172.69	171.10
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 :8,044.8km	走行時間費用	[億円/年]	6,714.08	6,712.17	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	
	合計：8,302.4km	走行時間短縮便益 [億円/年]	7,333.02	7,301.75	走行時間短縮便益 (A - B) 31.27

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

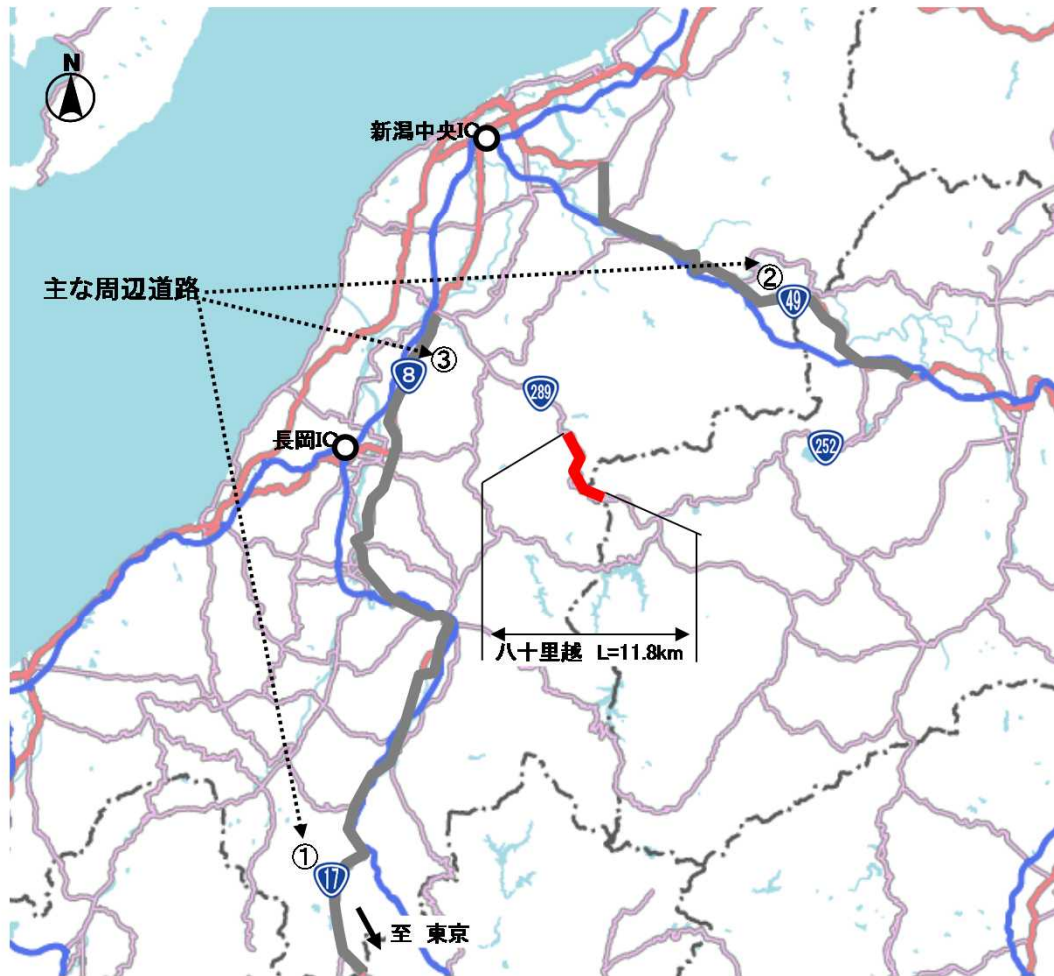
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：八十里越

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成25年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
	その他()		
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。		
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載		
	その他	<input type="checkbox"/>	

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
考慮する		<input checked="" type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載	(152) 日	
		降雪が最初に観測された日から最後に観測された日までの冬期日数(152日)及び降雪日数(133日)を考慮		
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
通常期と冬期の速度比(降雪時19%低下、降雪時以外10%低下)を考慮				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：八十里越

(4)

		項目	チェック欄
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 権限代行区間であるため、新潟県・福島県の管理する国道の実績値から設定	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表(全体)

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.067	11.8	0.79	
年次	年度	割引率 4.0%	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-34年目	S 61	2.8834	101.2	0.50	1.31		
-33年目	S 62	2.7725	101.0	1.00	2.53		
-32年目	S 63	2.6658	101.5	1.00	2.42		
-31年目	H 1	2.5633	104.2	1.65	3.74		
-30年目	H 2	2.4647	106.5	2.62	5.58		
-29年目	H 3	2.3699	109.1	2.91	5.82		
-28年目	H 4	2.2788	110.6	4.86	9.22		
-27年目	H 5	2.1911	110.9	8.06	14.67		
-26年目	H 6	2.1068	110.8	9.13	15.99		
-25年目	H 7	2.0258	109.9	9.71	16.48		
-24年目	H 8	1.9479	109.5	7.87	12.89		
-23年目	H 9	1.8730	110.4	11.53	18.02		
-22年目	H 10	1.8009	109.9	15.24	23.00		
-21年目	H 11	1.7317	108.4	18.39	27.06		
-20年目	H 12	1.6651	107.2	27.06	38.71		
-19年目	H 13	1.6010	105.7	20.59	28.72		
-18年目	H 14	1.5395	103.8	28.67	39.16		
-17年目	H 15	1.4802	102.3	29.82	39.74		
-16年目	H 16	1.4233	101.0	19.11	24.80		
-15年目	H 17	1.3686	99.6	16.84	21.31		
-14年目	H 18	1.3159	98.7	32.86	40.35		
-13年目	H 19	1.2653	97.6	27.72	33.10		
-12年目	H 20	1.2167	96.8	20.95	24.25		
-11年目	H 21	1.1699	95.6	23.52	26.51		
-10年目	H 22	1.1249	93.7	18.76	20.74		
-9年目	H 23	1.0816	92.1	14.86	16.07		
-8年目	H 24	1.0400	92.1	18.49	19.23		
-7年目	H 25	1.0000	92.1	16.57	16.57		
-6年目	H 26	0.9615	92.1	30.48	29.31		
-5年目	H 27	0.9246	92.1	34.54	31.94		
-4年目	H 28	0.8890	92.1	32.55	28.94		
-3年目	H 29	0.8548	92.1	28.95	24.75		
-2年目	H 30	0.8219	92.1	18.58	15.27		
-1年目	H 31	0.7903	92.1	9.00	7.11		
供用開始年次	H 32	0.7599	92.1	8.57	6.51	0.75	0.57
1年目	H 33	0.7307	92.1	7.14	5.22	0.75	0.55
2年目	H 34	0.7026	92.1	5.71	4.01	0.75	0.53
3年目	H 35	0.6756	92.1	1.03	0.70	0.75	0.51
4年目	H 36	0.6496	92.1			0.75	0.49
5年目	H 37	0.6246	92.1			0.75	0.47
6年目	H 38	0.6006	92.1			0.75	0.45
7年目	H 39	0.5775	92.1			0.75	0.43
8年目	H 40	0.5553	92.1			0.75	0.42
9年目	H 41	0.5339	92.1			0.75	0.40
10年目	H 42	0.5134	92.1			0.75	0.39
11年目	H 43	0.4936	92.1			0.75	0.37
12年目	H 44	0.4746	92.1			0.75	0.36
13年目	H 45	0.4564	92.1			0.75	0.34
14年目	H 46	0.4388	92.1			0.75	0.33
15年目	H 47	0.4220	92.1			0.75	0.32
16年目	H 48	0.4057	92.1			0.75	0.30
17年目	H 49	0.3901	92.1			0.75	0.29
18年目	H 50	0.3751	92.1			0.75	0.28
19年目	H 51	0.3607	92.1			0.75	0.27
20年目	H 52	0.3468	92.1			0.75	0.26
21年目	H 53	0.3335	92.1			0.75	0.25
22年目	H 54	0.3207	92.1			0.75	0.24
23年目	H 55	0.3083	92.1			0.75	0.23
24年目	H 56	0.2965	92.1			0.75	0.22
25年目	H 57	0.2851	92.1			0.75	0.21
26年目	H 58	0.2741	92.1			0.75	0.21
27年目	H 59	0.2636	92.1			0.75	0.20
28年目	H 60	0.2534	92.1			0.75	0.19
29年目	H 61	0.2437	92.1			0.75	0.18
30年目	H 62	0.2343	92.1			0.75	0.18

費用の現在価値算定表(全体)

				維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
箇所名: 一般国道289号 八十里越				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.067	11.8	0.79	
年次	年度	割引率 4.0%	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
31年目	H 63	0.2253	92.1			0.75	0.17
32年目	H 64	0.2166	92.1			0.75	0.16
33年目	H 65	0.2083	92.1			0.75	0.16
34年目	H 66	0.2003	92.1			0.75	0.15
35年目	H 67	0.1926	92.1			0.75	0.14
36年目	H 68	0.1852	92.1			0.75	0.14
37年目	H 69	0.1780	92.1			0.75	0.13
38年目	H 70	0.1712	92.1			0.75	0.13
39年目	H 71	0.1646	92.1			0.75	0.12
40年目	H 72	0.1583	92.1			0.75	0.12
41年目	H 73	0.1522	92.1			0.75	0.11
42年目	H 74	0.1463	92.1			0.75	0.11
43年目	H 75	0.1407	92.1			0.75	0.11
44年目	H 76	0.1353	92.1			0.75	0.10
45年目	H 77	0.1301	92.1			0.75	0.10
46年目	H 78	0.1251	92.1			0.75	0.09
47年目	H 79	0.1203	92.1			0.75	0.09
48年目	H 80	0.1157	92.1			0.75	0.09
49年目	H 81	0.1112	92.1	-2.59	-0.29	0.75	0.08
合計				584.25	701.46	37.50	12.74
単純事業費計				586.84		37.50	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道289号 八十里越					維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)		
					単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
					0.067	11.8	0.79
年次	年度	割引率 4.0%	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-7年目	H 25	1.0000	92.1	0.00	0.00		
-6年目	H 26	0.9615	92.1	30.48	29.31		
-5年目	H 27	0.9246	92.1	34.54	31.94		
-4年目	H 28	0.8890	92.1	32.55	28.94		
-3年目	H 29	0.8548	92.1	28.95	24.75		
-2年目	H 30	0.8219	92.1	18.58	15.27		
-1年目	H 31	0.7903	92.1	9.00	7.11		
供用開始年次	H 32	0.7599	92.1	8.57	6.51	0.75	0.57
1年目	H 33	0.7307	92.1	7.14	5.22	0.75	0.55
2年目	H 34	0.7026	92.1	5.71	4.01	0.75	0.53
3年目	H 35	0.6756	92.1	1.03	0.70	0.75	0.51
4年目	H 36	0.6496	92.1			0.75	0.49
5年目	H 37	0.6246	92.1			0.75	0.47
6年目	H 38	0.6006	92.1			0.75	0.45
7年目	H 39	0.5775	92.1			0.75	0.43
8年目	H 40	0.5553	92.1			0.75	0.42
9年目	H 41	0.5339	92.1			0.75	0.40
10年目	H 42	0.5134	92.1			0.75	0.39
11年目	H 43	0.4936	92.1			0.75	0.37
12年目	H 44	0.4746	92.1			0.75	0.36
13年目	H 45	0.4564	92.1			0.75	0.34
14年目	H 46	0.4388	92.1			0.75	0.33
15年目	H 47	0.4220	92.1			0.75	0.32
16年目	H 48	0.4057	92.1			0.75	0.30
17年目	H 49	0.3901	92.1			0.75	0.29
18年目	H 50	0.3751	92.1			0.75	0.28
19年目	H 51	0.3607	92.1			0.75	0.27
20年目	H 52	0.3468	92.1			0.75	0.26
21年目	H 53	0.3335	92.1			0.75	0.25
22年目	H 54	0.3207	92.1			0.75	0.24
23年目	H 55	0.3083	92.1			0.75	0.23
24年目	H 56	0.2965	92.1			0.75	0.22
25年目	H 57	0.2851	92.1			0.75	0.21
26年目	H 58	0.2741	92.1			0.75	0.21
27年目	H 59	0.2636	92.1			0.75	0.20
28年目	H 60	0.2534	92.1			0.75	0.19
29年目	H 61	0.2437	92.1			0.75	0.18
30年目	H 62	0.2343	92.1			0.75	0.18
31年目	H 63	0.2253	92.1			0.75	0.17
32年目	H 64	0.2166	92.1			0.75	0.16
33年目	H 65	0.2083	92.1			0.75	0.16
34年目	H 66	0.2003	92.1			0.75	0.15
35年目	H 67	0.1926	92.1			0.75	0.14
36年目	H 68	0.1852	92.1			0.75	0.14
37年目	H 69	0.1780	92.1			0.75	0.13
38年目	H 70	0.1712	92.1			0.75	0.13
39年目	H 71	0.1646	92.1			0.75	0.12
40年目	H 72	0.1583	92.1			0.75	0.12
41年目	H 73	0.1522	92.1			0.75	0.11
42年目	H 74	0.1463	92.1			0.75	0.11
43年目	H 75	0.1407	92.1			0.75	0.11
44年目	H 76	0.1353	92.1			0.75	0.10
45年目	H 77	0.1301	92.1			0.75	0.10
46年目	H 78	0.1251	92.1			0.75	0.09
47年目	H 79	0.1203	92.1			0.75	0.09
48年目	H 80	0.1157	92.1			0.75	0.09
49年目	H 81	0.1112	92.1	-0.58	-0.06	0.75	0.08
合計				175.97	153.70	37.50	12.74
単純事業費計				176.55		37.50	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表(全体・残事業)

箇所名:一 般国道289号 八十里越

Table with multiple columns: 年度(基準年), 年次(供用開始年次), 総走行台キロの年次別伸び率 (乗用車軽, 小型貨物, 普通貨物, 全重), GDP プレート, 割引率(A), 走行時間短縮便益(億円), 走行経費減少便益(億円), 現在価値 (1) x (A), ① 計, 小型貨物, 普通貨物, 乗用車軽, ② 計, 乗用車軽, 普通貨物, 現在価値 (A) x (2), ② 計, 乗用車軽, 普通貨物, 事故減少便益(億円), ③, 現在価値 (3) x (A), 便益合計 (1)~(3), 割引率4%, 合計 (億円).

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道289号 八十里越	新潟県三条市大字塩野淵～ 福島県南会津郡奥只見大字叶津	2	11.8km

■事業費内訳【全体事業費】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				52,522	
	改良費				7,203	
		土工	m ³	891,126	1,044	切土(140,910m ³)、盛土(678,526m ³)、土羽土(8,490m ³)等
		法面工	m ²	40,777	240	切土法面、盛土法面等
		排水工	式	1	189	水路、管渠、集水柵等
		擁壁工	式	1	598	もたれ擁壁、井桁擁壁等、雪崩予防壁等
		流路工	m	1,616	3,402	
		流出土砂対策工	式	1	709	貯砂ダム、谷止工、落差工等
		斜面対策工	式	1	1,022	
	橋梁費				9,641	
		100m以上	m	921	8,007	1号(239m)、2号(190m)、4号(131m)、5号(361m)
		100m未満	m	171	1,634	3号(63.5m)、6号(14.5m)、7号(33m)、8号(60m)
	トンネル費				27,567	
		本體工	m	9,102	23,504	第1号トンネル～第11号トンネル
		設備工	式	1	1,179	第1号トンネル～第11号トンネル
		シェッド工	m	733	2,884	スノーシェッド(608m)、ロックシェッド(105m)
	舗装費				631	
		アスファルト舗装	m ²	15,527	107	明り部、シェッド部
		コンクリート舗装	m ²	47,591	524	トンネル部
	工事用道路費				6,529	
		仮設道路工	式	1	1,456	3号、6号仮設道路
		工事用道路工	式	1	4,875	現国道289号防災等
		進入路工	式	1	198	
	付帯施設費				952	
		施設工	式	1	952	高圧受電設備、通信設備等
②	用地及補償費				259	
	用地費		m ²	259,000	259	
		宅地	m ²	-	-	
		田畑	m ²	-	-	
		山林・原野	m ²	259,000	259	
	補償費		式	-	-	
③	間接経費		式	1	8,719	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				61,500	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道289号 八十里越	新潟県三条市大字塩野淵～ 福島県南会津郡奥只見大字叶津	2	11.8km

■事業費内訳【残事業費】

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				15,838	
	改良費				1,504	
		土工	m ³	479,909	259	切土(40,477m ³)、盛土(304,800m ³)、土羽土(8,490m ³)等
		法面工	m ²	22,207	19	切土法面、盛土法面等
		排水工	式	1	131	水路、管渠、集水柵等
		擁壁工	式	1	583	もたれ擁壁、井桁擁壁等、雪崩予防壁等
		流路工	m	691	317	
		流出土砂対策工	式	1	196	谷止工、落差工等
		斜面対策工	式	1	0	
	橋梁費				5,000	
		100m以上	m	682	4,477	1号・2号・5号橋梁
		100m未満	m	111	523	3号・6号・7号橋梁
	トンネル費				9,003	
		本体工	m	3,606	6,958	1号・2号・3号・4号・6号・7号トンネル
		設備工	式	1	1,179	1号トンネル～11号トンネル
		シェッド工	m	553	866	スノーシェッド(488m)、ロックシェッド(65m)
	舗装費				331	
		アスファルト舗装	m ²	15,527	107	明り部、シェッド部
		コンクリート舗装	m ²	47,591	224	トンネル部
	工事用道路費					
		仮設道路工	式	0	0	
		工事用道路工	式	0	0	
		進入路工	式	1		
	付帯施設費					
		施設工	式	1		
②	用地及補償費				58	
	用地費		m ²	58,000	58	
		宅地	m ²	-	-	
		田畑	m ²	-	-	
		山林・原野	m ²	58,000	58	
	補償費		式	-	-	
③	間接経費		式	1	2,639	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				18,535	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

参考様式-2

路線名	箇所名	車線数	延長
国道289号	八十里越	2/2	11.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円/年)	備考
維持費	km	11.8	31.9	巡回、清掃、補修等
雪寒費	km	11.8	47.2	除雪等
維持管理費合計			79.1	

【単価等について】

○維持管理費は、新潟県・福島県の年間維持管理費、年間雪寒費に基づき算出。